

校長通信

おぼねをしよって立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～

輝け！シン尾花沢中

第31号

令和8年

5月15日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

他人の役に立つことを求める⑤～徳良湖まつりボランティアに参加して～

今号も、徳良湖まつりボランティアに参加した尾中生の感想を紹介します。

高橋さん（1年）：明るい挨拶で接することができ、お客様が挨拶を返してくれてうれしかったです。仕事もしっかりできてよかったです。

東海林さん（1年）：ボランティア活動では、周りを見てテキパキと作業できました。忙しいときは、ボランティアの皆で協力して活動しました。

榎本さん（1年）：自分から積極的に仕事に取り組み、周りの人とも連携して、お客さんが心地よく快適に楽しめるようにボランティア活動ができてとてもうれしかったです。また、ボランティア活動をしてみたいと思います。

奥山さん（1年）：ボランティアの内容は、スイカフェという場所で、体験できるボートに乗る人のライフジャケットの着用を補助する仕事です。私は、大きな声で挨拶する、分からないことはしっかり聞く、ということを目指して参加し「こんにちは」「ありがとうございました」などの挨拶ができました。今回の経験をこれからの生活に生かしていきたいです。次もボランティアに進んで参加したいです。

齊藤さん（1年）：通行人やお客さん、教えてくださる人へ感謝の気持ちを込めて礼儀正しく挨拶することを頑張りました。また、ボランティアの機会があれば参加したいです。

岩崎さん（1年）：ボランティアをして、友達がたくさんできたし、ライフジャケットを着る方法も簡単だったのでとても楽しかったです。これからもたくさんボランティアに参加したいです。

菅野さん（1年）：ライフジャケットの着用方法を理解しました。明るい挨拶も心がけました。

笹原さん（1年）：お客さんがライフジャケットを着たり脱いだりすることを手伝いました。皆さんが楽しく過ごしていたことがうれしかったです。また、「お願いします」「ありがとうございました」などと言ってくれたこともうれしかったです。

折原さん（1年）：ボランティアに参加していろいろなことを学んだとともに、イベント運営の大変さが分かりました。これからも、ボランティア活動の機会があれば参加して頑張りたいと思います。

柴崎さん（1年）：ボランティアに参加して、小さい子や大人の方々から「ありがとう」「がんばって」と言われて、とてもうれしく、清々しいいい気分を終えることができました。

大山さん（1年）：ボランティア活動に参加して、たくさんの人から「頑張って！」などの声をかけていただき、自分から進んで仕事に取り組むことができました。「イベントでは、いつもこんなことをしているんだ」と気づき、関わっている人々の大変さを知ることができました。

菅野さん（1年）：私は、スイカフェで主に船やボートに乗る人に救援器具の装備や困っている人への案内を行い、いかに本気で取り組むかを学びました。スイカフェでは、ました。「ありがとうございます」と言われるのがすごくうれしかったです。すごくいい経験ができました。



ボランティアに参加した皆さん、お疲れさまでした。とてもいい体験に触れ、充実した連休になったようで、私もうれしくなりました。

【文責：校長 工藤雅史】